

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【見沼小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度さいたま市学習状況調査の自校の結果(国語及び算数の知識・理解)を上回る。	⇒ 業前活動において、週1~2回の「スタディタイム」の設定。また、「ドリルパーク」や「スタディサプリ」と計算ドリルを併用することで、基礎・基本の定着に向けた反復・習熟を図る。
思考・判断・表現	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度さいたま市学習状況調査の自校の結果(国語・算数の思考・判断・表現)を上回る。	⇒ 学校課題研究でPBLを意識した授業改革に取り組む。自分で仮説を立て、オクリンク等の機能を用いて調査や検証、共有を行うことで、児童の思考力・表現力の向上を図る。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査において、令和4年度さいたま市学習状況調査の自校の結果(「〇〇の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答の割合)を上回る。	⇒ 学校課題を軸にしたPBLの実践を全学級1単元以上実施し、児童が主体的に課題と向き合い、取り組む場を多く設定する。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	昨年度の自校の結果と比較すると、国語も算数も良好な結果となっている。しかし、国語において、問題に対して中程度量で示されている正しい解答を選択する部分で正答率が若干低い結果となっている。文章を正確に読み取る部分での課題が見られる。また、敬語に関する基礎知識の未定着や無解答率の数値から苦手意識がみられる。算数においても、基礎・基本を問われる問題での無解答率が多くみられることから、既習事項の定着に課題が見られる。
思考・判断・表現	国語においては、資料を読み取り分かったことを書く問題について無解答率が全国や県と比較しても2倍近く高くなっている。このことから、資料を読み取り分かったことを、中程度量の文章でまとめることに苦手意識の高さがうかがえる。算数においても、国語と同様、一定量以上の問題文や資料を読み取り解答を記述する問題の無解答率が高くなっている。国語も算数も分かったこと等を記述する問題に課題が見られることから、短文から中文程度で自分の考え等を記述する活動を重視していきたい。
主体的に学習に取り組む態度	「国語/算数の勉強は大切だと思いますか」や「国語/算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」等の質問項目に対しては、9割以上の児童が肯定的回答をしているのに、「国語/算数の勉強は好きですか」の質問項目に対して、ともに肯定的回答が6割以下と低い結果となっている。学習の重要性は感じているものの、「好き」の意識が低いことから、児童主体の探究的な学びの実践をより重視して実践していく必要がある。

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし